

[抄録様式]

<p>公益財団法人 8020 推進財団</p> <p>平成 29 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>	
1. 事業名：	<p>歯科医師、歯科衛生士が適切に嚥下機能評価を含めたオーラルフレイルの評価、口腔機能向上のための訓練を行うための研修事業</p>
2. 申請者名：	<p>会津若松歯科医師会 会長 筒井 章</p>
3. 実施組織：	<p>会津若松歯科医師会</p>
4. 事業の概要：	<p>福島県会津医療圏は、約 25 万人の規模で高齢化率は約 31%と全国平均より高く高齢化がすすんでいる。今後、更なる高齢化が予想され、歯科診療内容のニーズもそれに伴い訪問診療やオーラルフレイル予防、嚥下障害患者への対応など変化してきている。それに対して、基幹病院である会津中央病院歯科口腔医療センターが地域歯科診療所に向けて、病棟・施設での口腔ケア及び嚥下機能評価を含めたオーラルフレイルの評価、口腔機能向上訓練の研修を施行した。専任歯科医師、専任歯科衛生士が口腔ケア実習付き研修会と摂食機能療法実習付き研修会を希望に応じて実施し指導する。</p>
5. 事業の内容：	<p>基幹病院である会津中央病院歯科口腔医療センターが中心となり、地域歯科診療所より歯科医師、歯科衛生士を対象に研修の受け入れを行った。専任歯科医師、専任歯科衛生士が口腔ケア実習付き研修会と摂食機能療法実習付き研修会を希望に応じて実施した。口腔ケア実習付き研修会では歯科診療所では日常診療で経験できない総合病院の他科入院患者に対して実際に口腔ケアを経験してもらい、ポイントなどを指導した。摂食機能療法実習付き研修会ではオーラルフレイルの検査(咬合様式、咀嚼能率検査、最大舌圧検査、オーラル・ディアドコキネシス等)、嚥下機能評価(反復唾液嚥下テスト、改訂水飲みテスト等)、訓練(咀嚼訓練、氷なめ訓練、頭部挙上訓練等)指導を実施した。</p>
6. 実施後の評価（今後の課題）：	<p>受講したすべての歯科医師、歯科衛生士ともに口腔ケア実習付き研修会と摂食機能療法実習付き研修会を両方とも希望し同日に受講した。H29 年度で延べ 14 回の研修を行い、延べ 22 施設の歯科診療所から歯科医師 22 名、歯科衛生士や歯科助手 18 名の研修を実施した。受講した施設は現在、訪問歯科診療を積極的に行っている歯科診療所や、現在は全く行っていないが、今後訪問歯科診療を検討している歯科診療所など幅広かった。両者ともにとっても充実した研修が行えたという意見が多かった。さらに中には興味を示し 2 回目の研修を希望した施設もあった。今後、2 回目以降の研修では嚥下機能精密検査(VE, VF)の内容も追加していくことを検討している。</p>